

地に於ける諸種の研究に費して、下旬にはモスコオに参り、その図書館博物館などをあさり候上、多分（目下の事情の變化せざる限り）來初には發程歸國の途に上り可申と存じ居り候につき、左様御承知置被下度候。

當地まで來られし日本人諸君は、西歐に向ふ列車全く無之、汽船も危険なれば海上の交通も絶え、到底引き返すより外致方なきことは、本月初以來定まりたる形勢に候へども、此頃の西比利亞鐵道では、何時何處にほり上げられ候やら解つたものに無之、露語には通ぜぬ人々のみに候へば其際の厄介を憂ひていまだ行きも歸りも得せず、空しくホテルの彼の部屋此の部屋に小田原評定を開き居られ候様子に候。唯今かゝる人達が十五六人も有之、當地にてはかゝる多數に邦人の逗留致し候こと未曾有のことに候よし承り申し候。中に石橋才賀兩代議士初め二三の人は、次の列車にて、政府の保護を請ひて出發致し候よし、たゞし此の際保護と稱してもどれ丈けの功果有之候やら、列車の切れる所にてはやはり泊るより外致し方可無之何とも厄介千萬のことにて、上田博士はとにかく暫らくの間此處に下宿して、機會を待ちて歸京せらるべく決心せられ候よし、或は小生歸東の頃御同道致し候様のことも可相成かとも存じ居り候。行先を塞がれた人たちの中に、一蝶とか申し候話家も有之候よしにて、度々一同の憂さ晴らしを致し居り候など、何とも珍妙千萬の現象に候。

昨今にかけて、西には歸り得ず、東日本迄行く勇氣もなかりし獨逸人等數十名は、悉皆露西亞の憲兵の爲に引き立てられて、オルエンブルグに押し込めの上と相成り候よし、夫婦連れの新婚旅行に夫は引き立てられ新婦は歸り行くべき處もなく途方にくれて泣き仆れた有様などを見ては、此の際まだく日本人の仕合せを喜ばざるを得ざる次第に候。それにしても、獨逸在留の同胞諸君の境遇は如何ならんなど、よるときはるとこんな話にて日を消